

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価の方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債権金額との差額について重要性が乏しいため償却原価法は採用していない。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・退職手当積立金設置要綱に定める額を計上している。

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込み方式

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残額 (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	180,000,000	0	50,000,000	130,000,000
計	180,000,000	0	50,000,000	130,000,000
特定資産	23,604,600	19,916,257	16,356,541	27,164,316
計	23,604,600	19,916,257	16,356,541	27,164,316
合計	203,604,600	19,916,257	66,356,541	157,164,316

### 3 基本財産及び特定資産の財源の内訳 (単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産	130,000,000	130,000,000	0	0
計	130,000,000	130,000,000	0	0
特定資産	27,164,316	0	0	27,164,316
計	27,164,316	0	0	27,164,316
合計	157,164,316	130,000,000	0	27,164,316

### 4 補助金の内訳並びに交付者・当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金・共催負担金・国助成金	周南市他	0	51,666,068	51,666,068	0	-
計		0	51,666,068	51,666,068	0	

### 5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
国債	19,999,309	20,975,213	975,904
地方債	29,986,000	29,458,000	△ 528,000
公社債	39,429,751	39,429,751	0
基本財産 小計	89,415,060	89,862,964	447,904
退職給付引当資産			
国債	19,982,691	19,672,074	△ 310,617
特定資産 小計	19,982,691	19,672,074	△ 310,617
合計	109,397,751	109,535,038	137,287

### 6 期中の雑損失ならびに過年度収支差額は次のとおりである。

科目	金額
雑損失、過年度収支差額	25,041,601